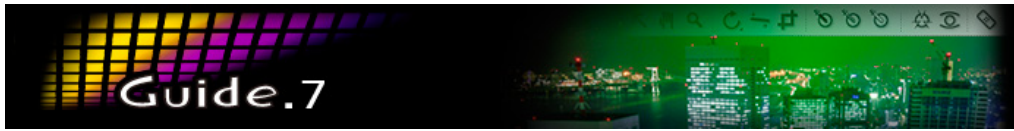


エディットリストの「現像」セクションと「調整」セクションの使い方を教えてください

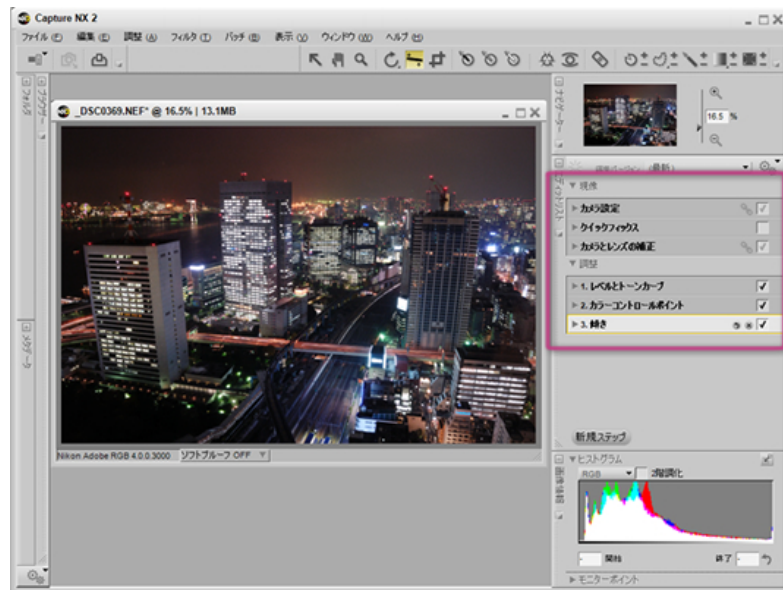


> [コンテンツトップへ戻る](#)

画像編集テクニック

エディットリストの「現像」セクションと「調整」セクションの使い方を教えてください

「現像」セクションでは、JPEG形式やTIFF形式で使える画像調整機能のほかに、RAW画像でのみ使える画像調整機能があり、画像全体を調整します。「調整」セクションでは、JPEG形式やTIFF形式で使える画像調整機能があり、画像の部分的な調整ができます。



POINT1: 「現像」セクションと「調整」セクションの違い

a 「現像」セクション

ホワイトバランス、露出補正、自動色収差補正、ノイズリダクション調整などを行う場合に使います。「現像」セクションには下記の3つがあります。

- ・カメラ設定 (RAW画像のみで表示)
- ・クイックフィックス
- ・カメラとレンズの補正



処理の順序を気にする必要はありません

「現像」セクションでは、行う処理の順序を気にする必要はありません。Capture NX 2が判断した最適な順序で処理が行われます。

b 「調整」セクション

トーンカーブ、コントロールポイントなどの画像調整を行いたい場合に使います。

下記のような機能を実行した場合に「画像処理ステップ」として追加されます。

- ・「調整」メニュー、「フィルタ」メニューなどから呼び出して実行した機能
- ・「カラーコントロールポイント」「回転ツール」「傾きツール」「クロップ」など



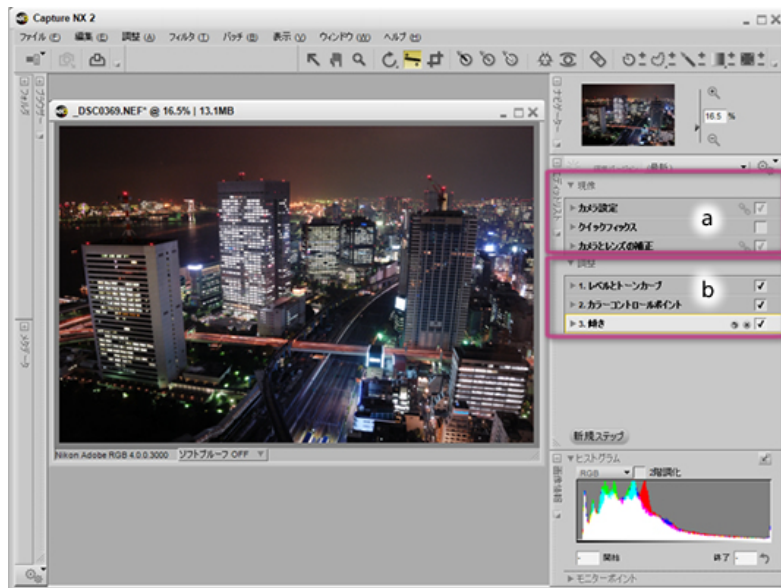
処理の順序に注意

「調整」セクションではステップが追加された順に処理が行われます。例えば、「アンシャープマスク」は最後にかけるのが効果的ですので、操作の手順を考えながら使っていく必要があります。



部分的な補正ができる

「調整」セクションでは選択範囲を設定して調整ができるので、部分的な補正を行うことができます。



POINT2: 「現像」セクションの内容

「現像」セクションには、下記の3つのグループにそれぞれの調整項目がまとめられています。

カメラ設定 (RAW画像のみ)

「ホワイトバランス」や「ピクチャーコントロール」を調整することができます。

クイックフィックス

「露出補正」や「コントラスト」など、よく使用する複数の画像調整を1つのダイアログの中で行うことができます。

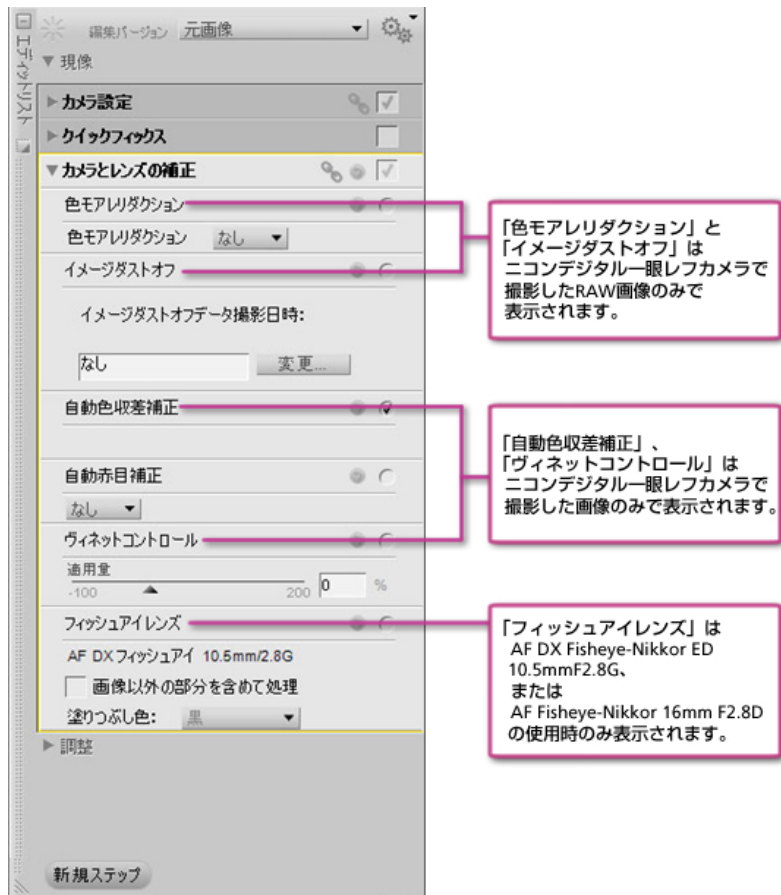
The image shows two side-by-side screenshots of the Adobe Lightroom 'Develop' section. The left screenshot shows the 'Camera Settings' panel with options for White Balance (Color Temperature, Camera, New, White Balance, Tint) and Picture Control (Picture Control, Color, Contrast, Clarity, Saturation, Color Balance, Noise Reduction, Sharpening, Edge Detection). The right screenshot shows the 'Quick Fixes' panel with a histogram and sliders for Exposure Compensation, Contrast, Highlights, Shadows, and Saturation. A pink box highlights the 'Exposure Compensation' slider in the Quick Fixes panel, and another pink box highlights the 'Picture Control' dropdown menu in the Camera Settings panel. A pink arrow points from the 'Picture Control' dropdown to the 'Quick Fixes' panel.

「露出補正」はRAW画像のみ有効です。

COOLPIXで撮影したRAW画像は、「ピクチャーコントロール」の「ピクチャーコントロール不使用」のみ調整できます。

カメラとレンズの補正

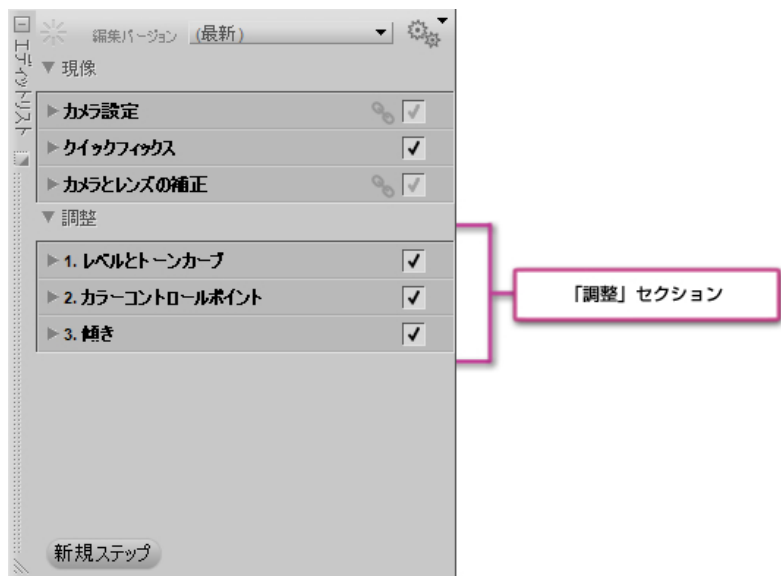
「色モアレ」、「ゴミの写りこみ」、「赤目」等を自動的に調整したり補正したりすることができます。



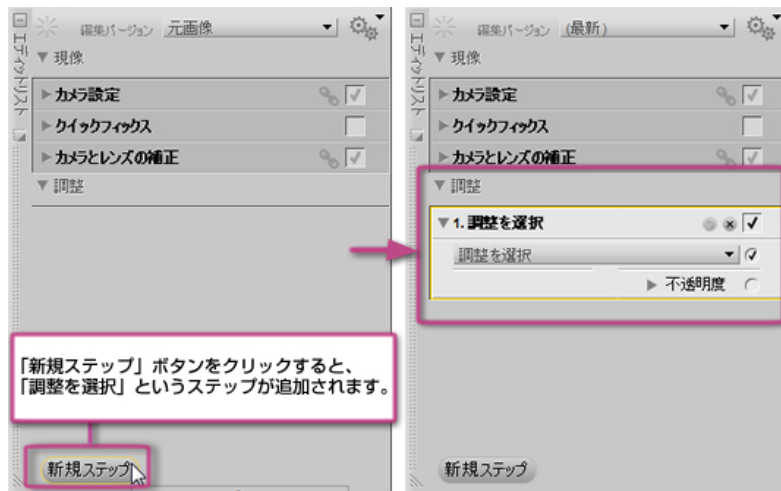
POINT3: 「調整」セクションにステップを追加するには

調整ツールなどで画像を調整すると、各種の処理が「ステップ」として「調整」セクションに追加されていきます。下記の操作を行うと、「調整」セクションにステップが追加されます。

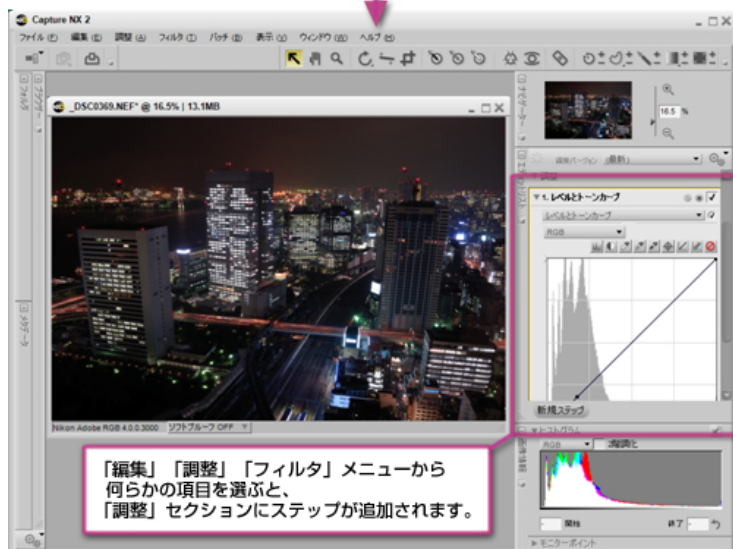
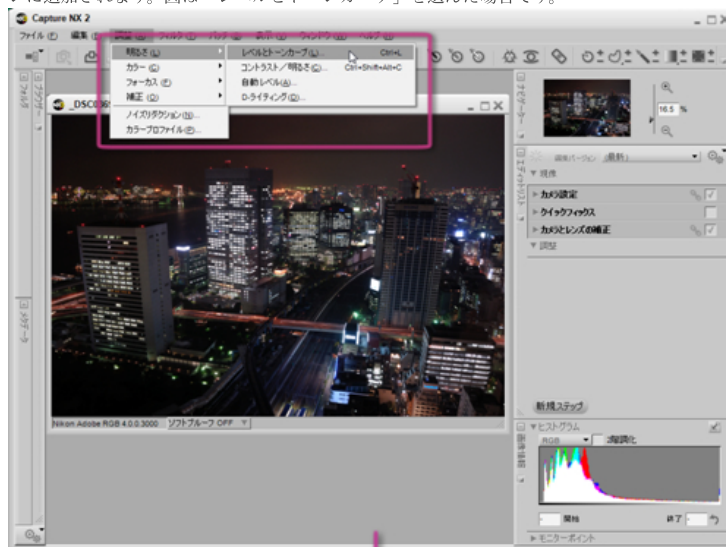
- 「新規ステップ」ボタンをクリックする。
- 「編集」「調整」「フィルタ」メニューから何らかの調整項目を選ぶ。
※「編集」メニューで選べる調整項目は、「反転」、「回転」、「画像サイズ/画像解像度」、「画像の大きさを合わせる」です。
- 「ツールバー」から何らかの調整項目を選ぶ。



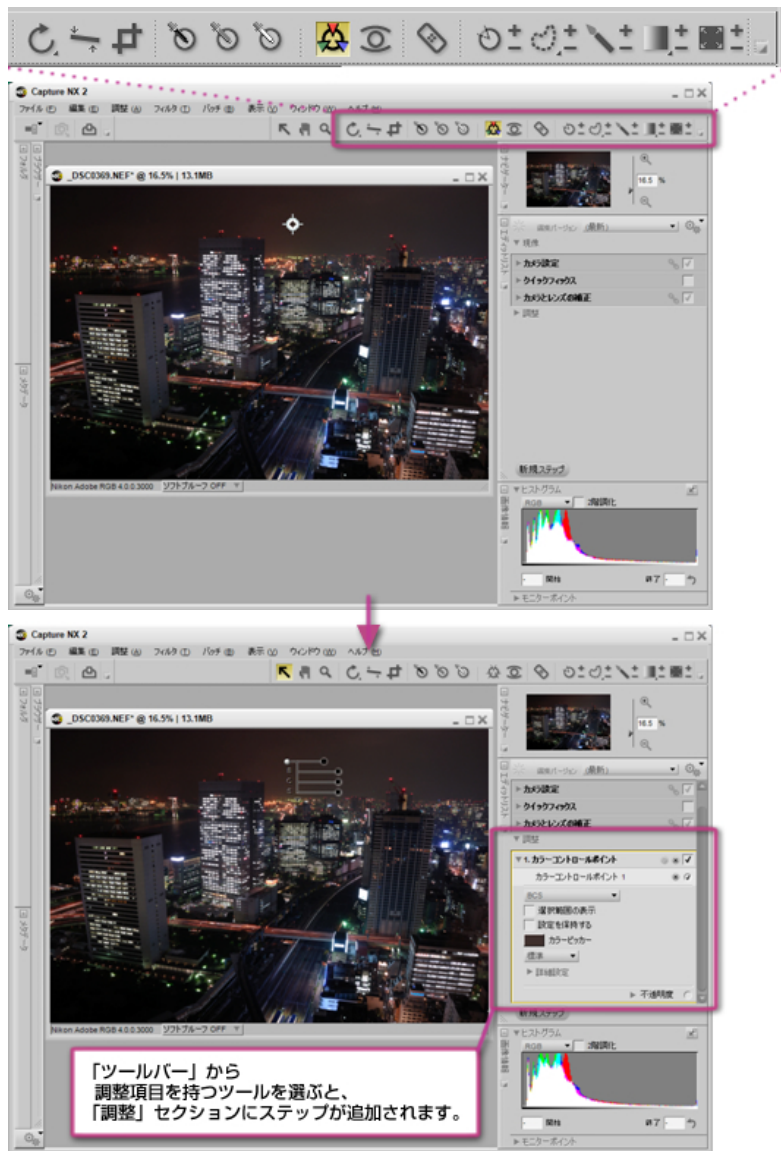
- 「新規ステップ」ボタンをクリックする
エディットリストの「新規ステップ」ボタンをクリックすると、「調整を選択」というステップが追加されます。何らかの調整を行う場合には、さらに「調整を選択」メニューから調整項目を選びます。



b 「編集」「調整」「フィルタ」メニューから何らかの調整項目を選ぶ
「編集」「調整」「フィルタ」メニューから何らかの項目を選ぶと、その項目が「調整」セクションに追加されます。図は「レベルとトーンカーブ」を選んだ場合です。



c 「ツールバー」から何らかの調整項目を選ぶ
「ツールバー」から調整効果を持つツール（「選択ツール」「手のひらツール」「ズームツール」以外）を選ぶと、その項目が、「調整」セクションに追加されます。
図は「カラーコントロールポイント」を実行した場合です。



ヒント

選択範囲関連のツールを実行した場合

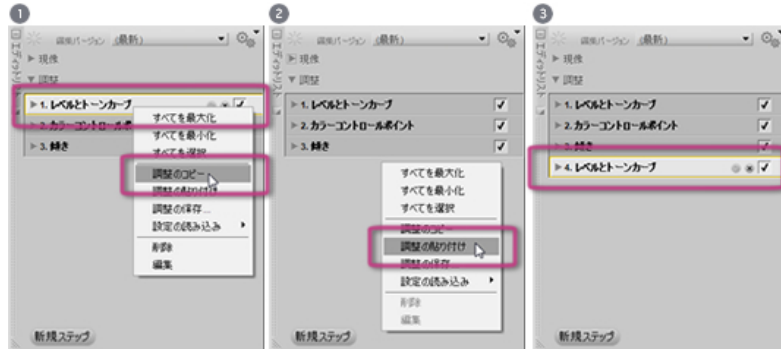
「ツールバー」から選択範囲を作成、編集するツールを選んだときは、範囲を選択した状態の「調整を選択」という新規ステップが追加されます。下の図は「選択コントロールポイント」を使ったときのものです。



POINT4: 「画像処理ステップ」を編集するには

「画像処理ステップ」は下記のように編集することもできます。

- コピーと貼り付け
「画像処理ステップ」をコピーし、同じ調整内容をステップの最後に追加することができます。
- 1 コピーしたい「画像処理ステップ」にマウスを合わせて右クリック（Macintoshの場合はcontrolキーを押したままクリック）し、「調整のコピー」を選択します。
 - 2 「画像処理ステップ」が選択されていない状態で、マウスを右クリックして「調整の貼り付け」を選びます。
 - 3 ステップの最後にコピーした「画像処理ステップ」が追加されます。
- ※ キャンセルしたい場合は、何も表示されていない部分をクリックします。

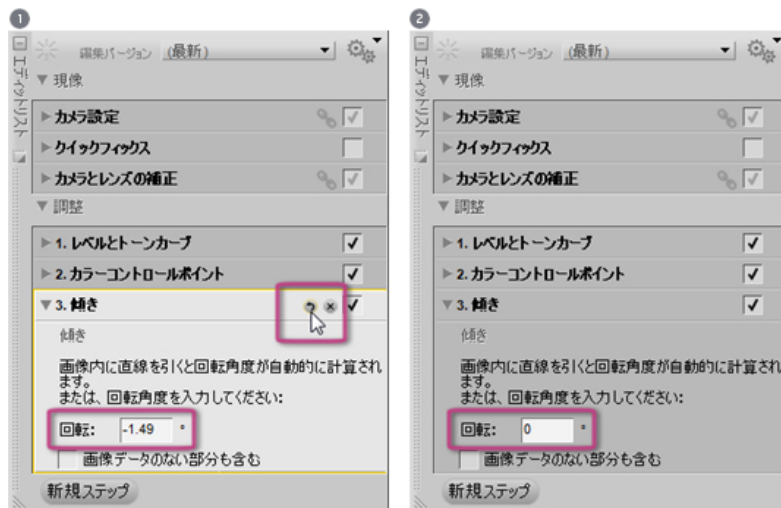


1 マウスの右クリックでコピーしたい「画像処理ステップ」をコピーします。（ここでは「レベルとトーンカーブ」）

2 「画像処理ステップ」が選択されていない状態で、マウスの右クリックで「調整の貼り付け」を選びます。

3 コピーした「画像処理ステップ」がステップの最後に追加されます。（ここでは「レベルとトーンカーブ」）

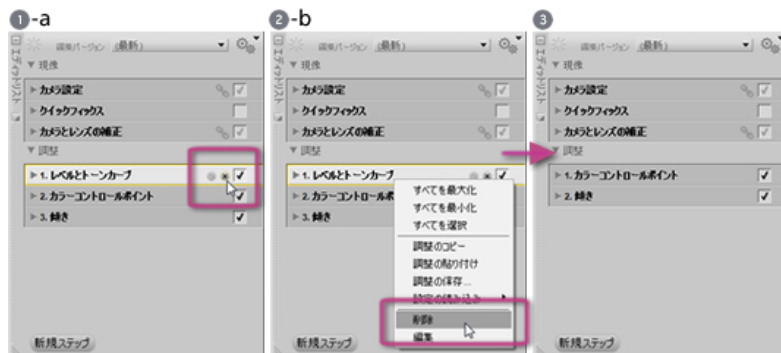
- リセット
調整した内容を、初期設定の状態に戻すことができます。
- 1 調整を元に戻したい場合は、該当する「画像処理ステップ」の「リセット」ボタンをクリックします。
 - 2 調整内容が初期設定の状態に戻ります。



1 調整内容を元に戻したい場合は「リセット」ボタンをクリックします。
ここでは「回転：-1.49°」です。

2 「リセット」ボタンによって調整前の状態に戻ります。
「回転：0°」になりました。

- 削除
任意の画像処理ステップを削除することができます。
- 1 削除したい「画像処理ステップ」の「削除」ボタンをクリックするか（1-a）、右クリック（Macintoshの場合はcontrolキーを押したままクリック）してメニューから「削除」を選びます（1-b）。
 - 2 選択した「画像処理ステップ」が削除されます。



1-a 削除したい「画像処理ステップ」の「削除」ボタンをクリックします。

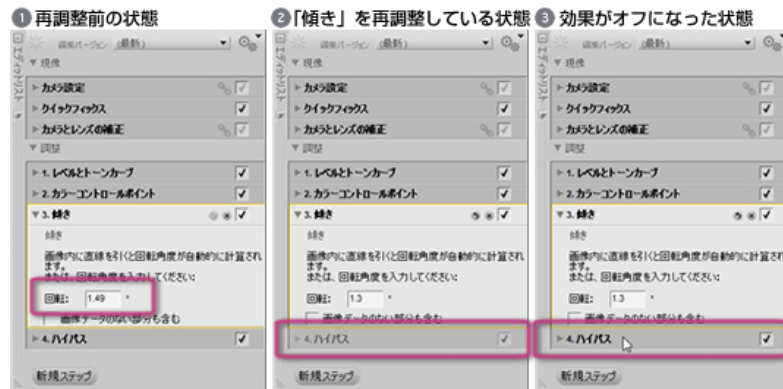
1-b 削除したい「画像処理ステップ」にマウスを合わせて右クリック（Macintoshの場合はcontrolキーを押したままクリック）し、「削除」を選びます。

2 コピーした「画像処理ステップ」がステップの最後に追加されます。（ここでは「レベルとトーンカーブ」）



途中のステップを再調整した場合

複数の「画像処理ステップ」がある場合、途中の「画像処理ステップ」を再調整すると、それよりあとの「画像処理ステップ」の効果が一時的にオフになります。
画像処理ステップの効果を有効にするには、その「画像処理ステップ」をクリックします。



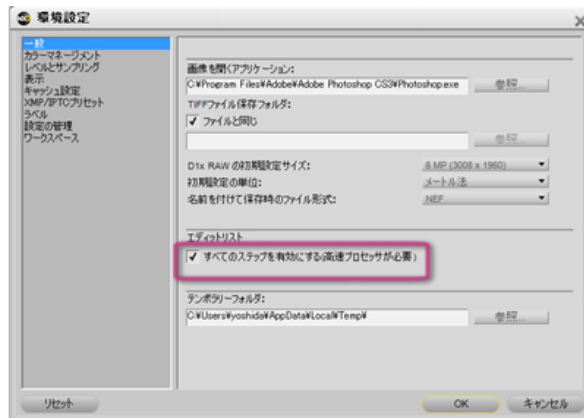
すべての「画像処理ステップ」が有効です。
ここで「歪み」を再調整してみます。

「歪み」よりあとの「ハイパス」はグレーになり、効果がオフになります。
「歪み」より前の「画像処理ステップ」は有効なままです。

効果がオフ（グレー）になった「画像処理ステップ」は、クリックすると元に戻り、効果が有効になります。

すべてのステップを有効にするには

途中の「画像処理ステップ」を再調整しても、以降の「画像処理ステップ」の効果をオフにさせないことができます。
「環境設定」の「一般」を選び、「すべてのステップを有効にする（高速プロセッサが必要）」にチェックを入れます。ただし、パソコンの性能によっては、処理に時間がかかる場合があります。



[> コンテンツトップへ戻る](#)

※掲載している情報は、コンテンツ公開当時のものです。

株式会社 **ニコン** 映像事業部

株式会社 **ニコン** イメージング ジャパン